

2025

ぶうげん
びりあ

月号

No.378

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

朝顔 ～自分の手でやってみる～

校長 白石 亨

夏の朝、色鮮やかに咲いている朝顔の花は実に清々しい。

朝咲いて、お昼過ぎには終わってしまう一瞬の花の儚^{はかな}さも、私たち日本人の琴線^{きんせん}に触れて好まれているのかも知れない。だがその一方、朝顔は自分にとっては少々ホロ苦い記憶もある。小学生のときの思い出である。

当時の子供たちは担任の先生から朝顔の種をもらおうと、赤茶色の素焼きの鉢に蒔いた。今のようにプラスチック製の青色のプランターが無かったからだ。でも、今も昔も、子供たちは毎朝登校すると欠かさずに朝顔に水をあげた。早く発芽して、元気な双葉を出してもらいたいからだ。すぐに多くの子供たちの鉢から芽が出てきた。だが、自分の鉢からはなかなか芽が出ない。ずいぶん経っても、なぜだか自分のだけがまったく芽が出なかった。淋^{さび}しいやら悲しいやら…。そのうち腹立たしくも思えてきて、目に涙を浮かべながら担任の先生に苦言した。

「大丈夫よ」と言って先生は微笑むだけだった。するとその言葉のとおり、数日後、一斉に発芽した。パッと気持ち明るくなった。朝顔は無事に大きく育ち、花を付けてくれた。言葉では言い表せないほど嬉しかった。

自分に限らず、多くの日本人は朝顔が好きなのだと思う。

それは、誰もが小学生のとき、直接、朝顔に触れて、自分の手で育てた経験があるからではないであろうか。机上の学問として目や耳だけで学んだ知識ではなく、実際に手をかけ、時間をかけ、気持ちをかけ、主体的に学んだ体験があるからこそ、胸の奥底にこのことが残っていて、何十年経ってもしっかりと朝顔に対する愛着があるように思える。学びの本質はここにあるのだと思っている。

「体験を通して学ぶ」。学校は実に様々な体験に満ちている。

この夏休みに入る前も、放課後、中学生が美術室に残って作品作りに取り組んでいた。鎌倉彫^{かまくらぼり}に似た木彫^{もくちよう}の授業。最後の仕上げとして、ひたすら紙ヤスリでゴシゴシと木の表面を削っていた。少しずつ少しずつ、見た目では分からないほどの微量だが、でも確実に削られていく。忍耐強く削っていく。そして時折、そのヤスリの掛け具合を自分の指を当てて確かめる。表面が滑らかにきれいになっているとニコリと笑顔を見せた。とてもいい表情に思えた。そう、自分の手でやってみるからこそ価値があるのだ。

このことは何も美術の授業に限ったことではない。家庭の授業では、小学生が自分の手で美味しいお茶の入れ方を試行錯誤していた。また音楽の授業では小学生が指揮者に挑戦し、どのように指揮を振れば、みんなの心を掴むことができるのか等にチャレンジしていた。母島小中学校の子供たちは、どの実技にも、どの作品づくりにも意欲的に取り組むことができるのだ。そう、人は興味や関心を抱いたものを目の前にすると、知的好奇心が湧き立ち、自分の手でやってみたくなるのだと思う。自分でやってみる。このことこそが肝心であり学びの原点だ。

ご批判を覚悟の上で申し上げるならば、コロナ禍のとき「GIGAスクール構想」によるインターネットでの遠隔授業の大切さが声高に言われていたが、やはり学びの場は学校だと思う。自分の手でやってみる。五感を通して学んでいく。そして仲間と一緒に肩を並べてその喜びを共有する。それに勝る学びはないと思っている。

返還祭の翌日、6月30日月曜日に1・2年生は南崎校外学習に行ってきました。事前に学習した植物を見付けて実際に見たり、小富士登頂を達成したりして、元気に行って帰ってくることができました。



↑ 万年青橋での植物観察



↑ 入山する前のチェック



小富士登頂！！

初めての校外学習を頑張った1年生にはメダルを、一緒に行ってくださったレンジャーさんや先生方には感謝状を2年生が手作りで用意して、最後に渡しました。2年生は、昨年の経験を活かして準備し、1年生を引っばる成長を見せました。

乳房山校外学習

6月27日（金）に、小学部3年生は乳房山校外学習に行ってきました。一人一人が自分の調べたいことをテーマにもち、環境省の方々に生き物の説明をしてもらいながら学習してきました。乳房山は、1・2年生の時に登った小富士に比べて標高が高いので、子どもたちは登り始めてからすぐに心が折れそうになっていました。しかし、事前に学習していた生き物を見付けると元気を取り戻し、誰が早く「オガサワラオカモノアラガイ」や「オトメカタマイマイ」を見付けられるかというゲームを始め、楽しみながら全員で登頂することができました。



今後は、12月に行われる「総合的な学習の時間発表会」に向けて、校外学習で学んだことをまとめていく予定です。子どもたちの学習の成果をぜひ見に来てください。



今年度は学年テーマを「小笠原の魅力を紹介する」としました。個人では「小笠原の生き物や植物」「海の生き物や漁業」をテーマに設定しました。

また12月に行われる総合的な学習の時間発表会に向けて『小笠原の魅力を、特に「平島で直接学んだこと」を「分かりやすく」伝えたい。』という発表の目標をもって取り組んでいます。

7月9日（水）当日は、漁業体験ではチギ、アカバ、ホオアカクチビと短時間に数種類の魚を釣り上げました。



平島上陸後は都レンジャーの方々からレクチャーを受けながら陸の調査と海の調査を行いました。

小笠原の魅力を紹介する中で、その魅力を保つためにも「環境のことについても調べたい、清掃活動をしたい。」と中学1年生からの提案があり、昼食後は、浜辺清掃を実施しました。

平島を出て、蓬莱根でのスノーケル体験の後、母島へ帰島しました。



小笠原母島漁業協同組合の漁師の皆様には、平島実地踏査から当日の活動まで全面的にご支援をいただきました。一般社団法人 Islands care 様には、スノーケル講習にご協力いただき、潜り方や安全面での指導をいただきました。自然保護指導員（東京都レンジャー）の皆様には、実地踏査や事前講習、当日の調査活動などでご助言をいただき、学習内容を深めることができました。

2学期の総合的な学習の時間では、学習成果をまとめ、総合的な学習の時間発表会にて保護者・地域の皆様に発表する予定です。今後とも教育活動へのご支援をよろしくお願いいたします。



9月の生活指導

生活目標

「規則正しい学校生活を送ろう」

- ・2学期に向けて自分の生活を振り返ろう。
- ・あいさつをして、気持ちのよい学校生活を送ろう。
- ・夏休みに取り組んだ学習の成果を発揮しよう。

安全指導 1日(月)

「地震・津波などの災害時における安全確保」

が重点目標です。

地震・津波などの災害時に起こりうる危険性を考え、安全確保のために必要な事柄について指導します。また災害時に自分でできること、協力してみんなのためにできることについて話し合い、いざというときに実行できるように指導します。

避難訓練 1日(月)

村の防災訓練に参加し、地震発生による津波の来襲を想定した避難訓練を行います。津波の際の避難経路や集合場所を確認し、診療所までの最短距離を考え、校舎を出てC線から避難します。

交通安全教室 24日(水)

9月24日(水)3校時(小学部低学年)、4校時(小学部高学年・中学生)に、交通安全教室を行います。

小学部では校庭の特設コースを実際に自転車で走行しながら、正しい交通ルールを学びます。



2学期の主な行事予定

◆プールでの水泳指導開始

9月12日(金)～10月17日(金)

※昨年度同様、2学期からのプールでの水泳指導となります。

健康観察等、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◆道徳授業地区公開講座

9月13日(土)

◆学芸会

11月2日(日)

予備日 11月3日(月)

◆小学校たてわり遠足

11月28日(金)

◆ロードレース大会

12月2日(火)

予備日 12月8日(月)

◆終業式

12月25日(木)



9月の主な行事予定

1	月	朝礼 安全・保健指導 避難訓練(村防災)【小中】委員会	16	火	
2	火	あいさつ運動始～8日【小4】平島校外学習	17	水	
3	水	【小】ユネスコ集会	18	木	
4	木	【小4】平島校外学習③	19	金	
5	金		20	土	数検②
6	土		21	日	
7	日		22	月	【小】イングリッシュウィーク始～26日
8	月	中朝礼【小】クラブ	23	火	秋分の日
9	火		24	水	【小】イングリッシュウィーク迎える会 交通安全教室
10	水	【小】プール開き【小4】平島校外学習③	25	木	【中】中間考査1週間前
11	木		26	金	交通安全教室③ 英検②
12	金	水泳指導始【小4】平島校外学習③	27	土	
13	土	土曜授業 道徳授業地区公開講座	28	日	
14	日		29	月	【小】クラブ【中】委員会
15	月	敬老の日【中3】実力テスト	30	火	



学校図書室開放日 4(木)・11(木)・18(木)・25(木)14:00～16:30